



伝える

校長 菅原 定志

地区新人大会も終わり、放課後の校舎には歌声が響きわたっています。文化祭の合唱コンクールに向けて、各学級ともその練習に熱が入ってきました。合唱は、声量やハーモニーはもちろんですが、聞き手の心をいかに揺さぶるかが大事になってくると思います。歌詞の一つ一つを理解し、かみしめて歌い上げること、伝えることで、聞き手の想像力を広め、感動を与えるのだと考えています。文化祭まであと3週間。当日は私も審査員として各学級の合唱を聴かせてもらいます。素晴らしい合唱が体育館に響き渡り、聴衆を魅了したものになることを今から楽しみにしています。

防災学習でも、今年は「伝える」ことをテーマに生徒たちは活動しています。震災から8年以上が経過し、被災地の当地方でも小中学生は震災を知らない世代となっていました。中学3年生は、保育所の年長で被災しています。時間の経過とともに、だんだんと記憶が薄れてきているのではないかと危惧しています。中学2年生、1年生となれば、それは顕著だと思います。そこで、今年は地域の方20名から震災当時のお話を伺いました。どのお話も貴重なもので、経験した人でなければ話せない内容のものでした。子供たちは今、聞いたお話から教訓として次の世代へ伝えていくこと、お話を聞いて気づいたこと、考えたことをまとめています。私がこの学習を通して子供たちに期待していることは、聞いたことをただ単に言葉だけで伝えようとしても伝えることは難しいと気づいてもらいたい、そしてどうしたら伝わるのか、聞き手の心を揺さぶるのかを考えてほしいということです。震災を知らない人に言葉だけで伝えようとしても伝わらないのは当たり前。そこで、子供たちには震災を知らない人に伝わる工夫をしてもらいたいと思っています。あの日にタイムスリップすることはできません。しかし、聞き手を話に引き込む手段はあると思います。今年も部活動ごとに活動しています。子供たちには顧問の先生と話し合い、アイデアを出し合いながら、この学びを深めていってもらいたいと願っています。

「伝える」という取り組みの一つとして、今年から気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で階上生による館内ガイドを行うという取り組みを始めました。階上生が校外で活躍する場の提供をしたいとの考えから伝承館館長と相談し始めました。非常に忙しい毎日を送っている中学生にやってもらうのはどうかとも迷いましたが、これに興味を持った生徒がいればよいと考えて始めました。館内ガイドの練習をしてみたら、最初からうまくできるわけもなく当然悪戦苦闘です。しかし、伝承館の職員の皆さんや語り部の活動をしている方々から指導を受けて、上達してきました。先日は、たまたま本校15回生の先輩方が同級会として伝承館に来館していたこともあり、先輩方にお願いしガイドさせていただきました。先輩方は子供たちのガイドに温かく耳を傾けていただき、最後は大きな拍手をいただきました。今後も活動はあります。やってみたい人を募集しています。やってみたい人は、担任の先生か校長に話してください。

「伝える」ということは簡単ではありません。しかし、子供たちが社会に出た際に必要となる力、まさに「生きる力」の一つだと考えています。「伝える」ことを楽しみながら身に付けていければと思っています。



地区中総体新人大会を終えて

他校との対戦を通して「勝つ喜び」「負ける悔しさ」「一生懸命やる清々しさ」を一人一人が感じてきました。次の目標に向かって、どの部もしっかりと前を向いて頑張ってほしいと思います。先日、ワールドカップで日本代表チームが優勝候補といわれるアイルランドに勝利を収めました。試合後、日本代表のどの選手も「この勝利は必然である。」と話していました。自分たちが積み重ねてきた練習に不動の自信を持っていることが伝わります。本番を迎えるまでの練習(準備)がどれほど大切なもののなか、改めて考えさせられました。中総体もすぐにやってきます。限られた時間を最大限に有効に使っていきたいものです。ファイト！階中生！！

栄光を称えて

県中学校総合体育大会柔道男子90kg級 第3位 東北大会出場
全日本吹奏楽コンクール予選 登米・本吉地区大会 金賞 吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール予選 宮城県大会 銅賞 吹奏楽部
みやぎ小中学生いじめゼロCMコンクール 奨励賞 階上中生徒会
宮城県ネクストリーダー養成修了
地区中総体駅伝大会 第5区 区間第3位
本吉地方英語暗唱・弁論大会 弁論の部
優良賞
本吉地方中学校弁論大会 優秀賞
無火災地域表彰 階上中学校少年消防クラブ
女子バレーボール 第3位
男子ソフトテニス 第3位
卓球男子 団体第3位
卓球男子 個人第1位【県大会出場】



自分の生き方につながる防災学習



9月17日(火)には、アクサ・ユネスコ減災教育プログラムに参加した全国の教員約50名が来校し、本校の防災学習を見学、意見交換してきました。午前には、3年生は小学校を訪問して啓発活動(防災カルタ、防災クイズ、防災ぬりえ、防災紙芝居)を行いました。参観した先生方は、3年生の皆さん的小学生に対する伝え方に感心していました。「一方的に」話して聞かせるのではなく、小学生に質問したり答えたりしながら「双方向」を意識した伝え方ができていたからです。

午後には、3年生全員と2年生生徒会総務が代表で意見交換会に参加しました。全国の先生方からの質問に手をあげて、前に出て答えた生徒が多くいました。例えば、このような質問がありました。「今後、大人になった時、防災の重要さをどう伝えていきますか。」その瞬間、一人一人が真剣に考えていました。代表で答えた生徒は「自分の就いた職業の中でできることがあるはず。」「口伝え」「ボランティアとして」「語り部として」と答えていました。今、皆さんが学習していることは、確実に未来につながっています。

